

第3回別府のみらい検討会議概要

- 1 日 時 平成 30 年 5 月 9 日（水） 13 時 30 分～
- 2 場 所 別府市保健センター 湯のまちけんこうパーク 1 階 多目的ホール
- 3 出席者 委員 14 名（総数 20 名） オブザーバー 3 名（総数 4 名）

4 報告事項

- ・「世界温泉地サミット」等の今後の行事のお知らせ
観光経済部長より、世界温泉地サミット、ラグビーワールドカップ関連事業、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭、LGBT 温泉会議 in 別府等の開催についてお知らせした

5 協議事項

(1) 「入湯税の引上げ部分の使途に関する提言（案）」についての協議及び承認

事前に委員及びオブザーバーに提言案の内容を確認していただき、出された修正案を元に出席者で確認作業を行った。

*事務局より提言（案）を読み上げ、事前に、委員より受付した修正箇所をお知らせした

■委員より

- ・別府のみらい検討会議のような留学生の会議を、市として開催し、これまで出た課題等を掘り下げ、留学生としての意見を聴く仕組みを組織的にやってほしい
- ・基金の仕組みについて言及されていない。入湯税引上げによる予算が増えた分を、積み立てするなど、運用について、どこでコントロールするのか明文化してほしい
- ・既存の観光施策の使途と、引上げ分の使途とのグレー部分について、議論を尽くさないといけない
- ・「③観光客の安全・安心の確保」の項目において、車椅子に加えて、「ベビーカー」も入れてほしい。外国人からも日本人からも両方問い合わせがある。ベビーカーがあるとわかると集客に繋がる
- ・新しい観光のお客様に来ていただく戦略として発言している。既存施設を整備することで、いかにお客様数が伸びていくか、コミュニティビジネスへの投資の形作りが必要
- ・共同温泉の料金が上がると思われるところがある
- ・入湯税引上げはマイナスではないと周知徹底できる PR の仕方が大事
- ・参考意見の「①温泉資源の保護、確保」において、【行政として考えられる使途】の「エネルギーとして未利用熱源等の利活用」は、検討会議で協議していないので、削除

してほしい

→削除する

・入湯税の使途としてふさわしくない事業の例として、「①お客様が参加しにくい単発型イベント」とあるが、新しい試みをするのと矛盾している気がするので整理をどうするのか。「単発型」の表現に、特別な意味がなければ「単発型」をはずす。具体的な例が思いつかない。

→過去のイベントに集まるお客様は、市民や近隣の方々が多く、入湯税を納める宿泊客が参加できないイベントは如何なものかというご指摘を頂いている。ここでイメージしているお客様とは、入湯税の納税義務者である宿泊者を想定している。

*15 分間休憩

・基金は、税収が上がって翌年度からの執行になるのか。ある程度の税収予測の上で当該年度の執行となるのか

・釧路市の場合は該当施設が5施設なので、見込みがぶれない。大阪の宿泊税は見込みを下回っている。状況により上振れ下振れのリスクが生じる。初年度の読みは難しい

・春に行われる温泉まつりは地元民が温泉に感謝するまつりであり、夏、冬の時期に開催されるイベントにも意味がある。

・最初に地元の人達に評価してもらえないと始まらないので、最初のターゲットは車で1時間以内の圏内、5年後は宿泊客でいっぱいになるようにイベントの将来計画を立てること。クリスマスファンタジアがその例である。情報発信をし、地元から評価を得て次のステップに進めたい

・宿泊施設や空港の収容のキャパに限界があるので、どの日に複数イベントが重なるのか整理して、集客という点で考えること。稼働率が平準化して推移できるように、イベント等を組むのが良い

・イベントは、時期、効果、費用を考えること

・インバウンドが増えたが町は変わっておらず、旅館ホテルを一步出ると町は疲弊している

・目標設定の仕方として宿泊数だけではなく、KPIをしっかりと作り、観光地の仕組みを作ること

・入湯税引上げについて、別府が良い事例として挙がることを期待する

・国立公園満喫プロジェクトがあり、今後も連携強化したい

・別府の課題、魅力が良くわかった。ここで働いて良かったと思えると観光に繋がる

・留学生が別府の力になるのではないかと

・別府の温泉を盛り上げたい、別府にまた来たいと思ってもらえる取り組みを今後もやって行きたい

- ・人はいつか不自由を感じる時が来る。そうなったとしても別府に来ていただけるような先行投資をし、魅力を引き出せることが出来ると良い。別府の魅力を広げたい
- ・今後、それぞれの自治体が自立した財源を持っているかどうかで、差が確実につく
- ・別府は入湯税引上げに関し、フロントランナー的であり、効率的なお金の使い方と事業の仕組みが必要
- ・県外から来て別府の湯けむりをみると、圧倒的な自然力を感じる
- ・熱海より大分県全体での入湯回数が多く、別府限定で見ると、1人当たり生涯すご

い入湯回数になる。いろんな知見が蓄積されている。

- ・皆さんの意見が実現できれば、ワクワクする町になる

議長よりまとめ

平成30年度、3回検討会議を開催し、使途に関して、公民一体の組織について協議してきた。ふるさとに貢献できる役割が出来た。今後は、どう実行に移せるかが大事である。

6 事務局より

提言の修正分を後日皆様に配布いたします。提言の市長への提出は、5月24日(木)11時30分から市長応接室で行います。議長、副議長にご参加いただきます。平成30年度別府のみらい検討会議は本日で終了しましたが、委嘱状の任期は、平成31年3月末までですので、今後協議していただきたい事項がありましたら、お声掛けいたしたいと存じます。ありがとうございました。 閉会(15時50分)